

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ～6日	7月 ～13日
カンピロバクター	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	9 (13)	8
病原性大腸菌	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	18 (22)	19
腸管出血性大腸菌	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	1 (2)	0
サルモネラ	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	3	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	1 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	0	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	0	0
ロタウイルス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	0	1
ノロウイルス	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	0	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第28週(7月7日～7月13日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類 別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一 類	0	発生なし	0							
二 類	7	結核	7		1	2		2	1	1
三 類	7	腸管出血性大腸菌感染症	7			2		3		2
四 類	1	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	2				1	1		
		レジオネラ症	1					1		
五 類	164	急性脳炎	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	4	1				2	1	
		百日咳	155	36	31	17	1	56	3	11
		麻しん	1					1		

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年28週(7月7日～7月13日)

■コメント

1 麻疹

2019年以来の報告が1件ありました。主な症状は発熱、咳、鼻汁、発疹です。感染力は極めて強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染し、患者1,000人に1人の割合で死亡と言われています。最も有効な予防法はワクチン接種です。こどもの定期予防接種は忘れずに受けましょう。また、海外渡航の際も、麻疹の罹患歴や予防接種歴が明らかでない場合は、予防接種を検討しましょう。

2 百日咳

56件の報告があり、増加傾向が続いています。

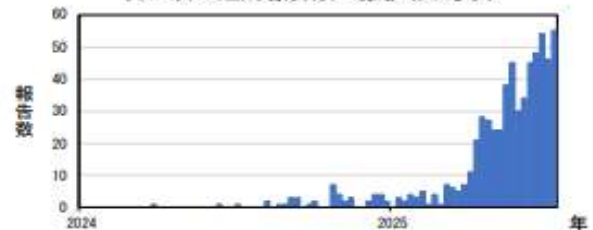
3 ヘルパンギーナ

定点当たり2.73人の報告があり、増加が続いています。

4 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

今年初めての報告が1件ありました。山や草むらに入るときは、マダニに刺されないように注意しましょう。

百日咳の週別報告数の推移(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1965	56.14				小児科	突発性発しん	3	0.14	0.32		
	インフルエンザ	1	0.03	0.25				ヘルパンギーナ	60	2.73	1.23		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	39	1.11					流行性耳下腺炎	3	0.14	0.03		
小児科	RSウイルス感染症	2	0.09	3.41			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.30				流行性角結膜炎	10	1.25	0.23		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.91	1.41			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	151	6.86	3.56				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	1	0.05	0.07				マイコプラズマ肺炎	11	1.83	0.29		
	手足口病	22	1.00	6.24				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	97	4.41	0.01				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	66	30歳代・市外・推定感染地域: 国外、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	17	20歳代・O157、60歳代・O157・推定感染地域: 国外、60歳代・O157
4	重症熱性血小板減少症候群	1	1	70歳代・市外
4	レジオネラ症	1	20	60歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	23	10歳未満、80歳代
5	梅毒	2	72	20歳代・推定感染地域: 国外、30歳代
5	百日咳	56	578	10歳未満・17人、10歳代・27人、20歳代・2人、30歳代・5人、40歳代・2人、50歳代・1人、60歳代・1人、80歳代・1人
5	麻疹	1	1	30歳代・推定感染地域: 国外